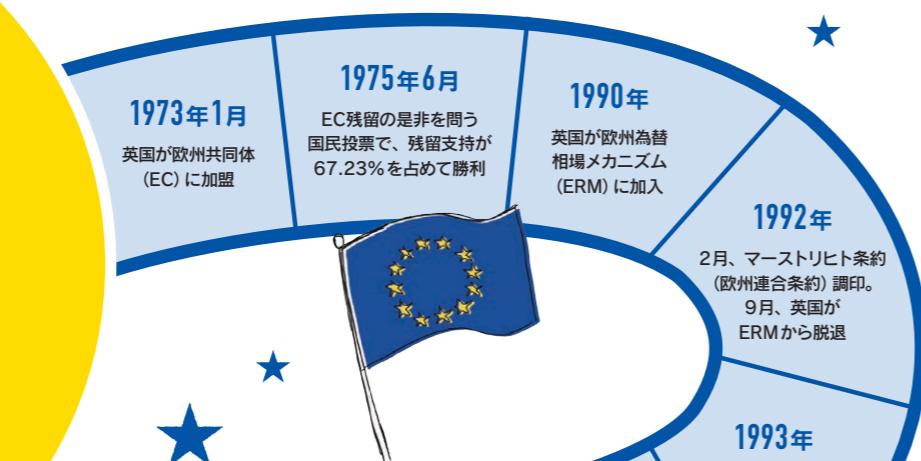


なかなか上がれない…

BREXIT すごろく

英国がEUの前身となるECに加盟したのは46年前。
EUの単一通貨ユーロを導入せず、国境検査を必要としない
シェンゲン協定にも加入しない独立独歩の道を歩んできた英国は、
果たして「離脱」という「上がり」に到達できるだろうか。

START! ➡



2013年1月23日

2年後の総選挙で保守党的単独過半数獲得を狙うキャメロン首相は、保守党が勝利したら、17年末までにEU離脱の是非を問う国民投票を行うと公約。東欧からの移民増加、07～08年の世界金融危機による負の影響、11年のユーロ危機を救うための財政支出などの結果、一部の英國民や議員に反EU感情が高まっていた

党のことだけを奢った安易な決定が不評で振り出しに戻る

2019年3月21日

EUがメイ首相の延期要請を受けて、3度目の離脱協定が議会承認されれば5月22日(23日～26日の欧州議会選挙の前)、そうでない場合は4月12日まで離脱期限を延長すると発表

延長でほっと一息して1回休む



2019年3月12日

英政府とEUが取りまとめた新たな離脱合意案を下院が否決。この合意案は、北アイルランドの国境問題を解決する「バックストップ」が一時的なものであることを入れた点で「新たな」離脱案とされた。

下院による否決で1つ戻る

2019年9月4日

離脱の3ヵ月間の再延期を求める法案を可決。10月19日までに、首相がEUとの離脱協定、あるいは、合意なき離脱について下院で承認を得ることができなかった場合、来年1月31日までの延長をEUに要請することを義務化。首相による総選挙前倒し法案は否決

法案可決で喜び3つ進む

2019年10月2日

ジョンソン首相が離脱最終案を提示。バックストップ案の代わりに、「北アイルランドは離脱後も農産品や工業製品の規格などでEUの規制に従う」、「規制適用の判断は北アイルランド議会が担う」、「関税ルールは、関税同盟を抜けた上で、北アイルランドを含む英國として統一」、「税関検査は国境周辺を避ける」など

問題をはらむ最終案に頭を抱えて2回休む

2019年9月3日

夏休みが明け議会始まる

Σ Σ

Σ Σ

Σ Σ

Σ Σ

Σ Σ

Σ Σ

Σ Σ

Σ Σ

Σ Σ

Σ Σ

Σ Σ

2019年10月8日～10日、14日

議会開会。14日にエリザベス女王による施政方針演説

2019年10月17～18日

EU首脳会議

離脱延期法が発動。下院の承認が取れない場合、ジョンソン首相はEUに延長を要請する?

2019年10月31日

英国のEU離脱予定日

GOAL…??



2016年6月23日

EU離脱の是非を問う国民投票が行われ、離脱支持が51.9%(1741万742票)、残留支持が48.1%(1614万1241票)となり、僅差で離脱派が勝利した。残留キャンペーンを主導したキャメロン首相が、同24日に辞任を表明

頭を冷やすために3回休む

2016年2月20日

キャメロン首相が国民投票の実施を表明

2018年11月25日

英政府とEUが離脱協定案と政治宣言案に合意。協定案では「北アイルランドとアイルランド共和国の国境に關税を設けない」、「移行期間中に通關問題が解決しない場合、英国は關稅同盟に事実上残る」、「未払い分担金の支払い」、「EU市民に対する権利保障」など。政治宣言案では英国とEUの協力を目指すなど

2018年12月10日

メイ首相が合意案の下院採決の延期を表明

2019年1月15日

下院が合意案を大差で否決

2019年1月16日

下院が内閣不信任決議案を否決

2019年1月29日

下院がEUとの再交渉を目指すメイ首相の方針を支持。EUは拒否

2019年9月9日

女王が離脱延期法案を裁可(立法化)、下院が総選挙前倒し法案を再度否決

2019年9月10日

政府が議会を開会

2019年9月24日

最高裁が、議会閉会についての首相のエリザベス女王への助言は違法であったと結論付ける。

2019年9月25日

最高裁の判決により議会が再開

メイ首相と歐州委員会のユンケル委員長が離脱条件で基本合意したと発表。「北アイルランドとアイルランド共和国の間に物理的な国境は設けない」、「英國在住のEU市民の権利を保障」、「未払い分担金を支払う」など。同15日、貿易協議を含む「第2段階」の交渉に進むことをEUが首脳会議で決定

とりあえず話が進んだので1つ進む

2018年3月19日

2020年12月末までの「移行期間」導入で暫定合意

2018年7月6日

首相の別荘「チッカーズ」に集まった閣僚らは、離脱後もEUとの貿易や人の移動などについてEU規則との協調継続を受け入れる提案について合意する(「チッカーズ合意」)。同8日、親EU過ぎるという理由からデービッド・テビス離脱相が辞任。9日、ジョンソン外相も辞任。12日、政府は離脱白書を発表

白書を発表して疲れたので1回休む



2019年10月31日

英国のEU離脱予定日